品目名 トマト

品種と作型

作型＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
雨よけハウス					定植 ×		収穫 ■■■■■■■				
						×	■■■■■				

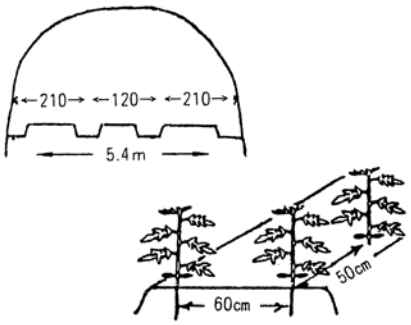
摘要

・品種　桃太郎８
・栽植密度
畝幅200cm　株間50cm
２条植（条間60cm）　200株／ａ
・栽培のポイント
①育苗中夜間12℃以下にしない。
②防除は予防散布を行う。

主要管理	栽培の要点
畑の準備	・ハウス周囲の排水対策をしっかり行い、定植１ヶ月前までに土壌改良資材や堆肥を施用し、深耕する。 ・10日～14日前に基肥を施用し、耕起、畝立てを行う。
定植	・開花直前の若苗を定植する。 ・植え穴をほり、植え穴かん水を行う。 ・鉢土が少し出る程度の浅植えとする。
かん水	・活着後は水を控え、根を張らせる。 ・着果後は徐々にかん水量を増やし、梅雨明け後からは積極的にかん水する。 ・夏場は、２～３日おきにかん水する。
追肥	・第１回は１段果房が10円玉大になった時に行い、２回目は第３花房開花時に、以降は各段の花房開花時に行う。
ホルモン処理	・１花房の花が２～３花開花した晴れた日の午前中に行う。 ・トマトトーンの場合、20℃以下の低温時50倍、高温期は100倍で処理する。３段目以上で空洞果の発生が心配な時は、ジベレリンを７～10ppm混ぜて処理する。
摘葉、摘芽	・収穫が終わった果房までの葉を取る。 ・わき芽は芽が小さいうちに取る。作業は晴れた日の午前中に行う。
摘果	・１段目は４果、以降は樹勢をみながら４～５果を残す。
温度管理	・日中25～30℃、夜間15℃以上を目標に管理を行う。 ・高温期は妻面の上部を開け、換気に努める。
病害虫防除	・病気は予防散布で、害虫は初発防除を徹底する。 ・できる限り換気を行い、ハウス内湿度を下げるようにする。
収穫	・出荷規格に準じる。

留意事項

・畝立て例



・施肥例（kg／ａ）

資材名	基肥	追肥
堆肥	300	
苦土石灰	14	
苦土重焼燐	5	
野菜189号	8	
ＩＢ化成	6	
野菜129号		18

※養液土耕の場合は別に定める。

・病害虫防除

疫病	ダコニール1000 ホライズンドライフロアブル
葉かび病	ダコニール1000 アミスター20フロアブル
灰色かび病	ロブラール500アクア ポリオキシンＡＬ水和剤 アミスター20フロアブル
アブラムシ類	ベストガード水溶剤 アディオン乳剤
オオタバコガ	アファーム乳剤 スピノエース顆粒水和剤